

# 山と博物館

「山と博物館」は、大町市役所および市内社会教育施設で、設置・配布しているほか、博物館公式 Web サイトからもご覧いただけます。

## 4月号

第59巻 第3号

2014年



も  
く  
じ

今月の1枚 ..... 1 ページ  
 ・全館をリニューアルいたしました  
 さんぱく研究最前線 - 北アルプスの自然と人 トピックス ..... 2 ページ  
 ・日本のライチョウは生き残れるか? - 地球温暖化による危機 -  
 博物館のひろば ..... 3 ページ  
 ・さんぱく座談会、山と博物館、ライチョウ域外保全会議  
 インターンシップの受け入れ  
 募集のお知らせ ..... 4 ページ  
 ・ライチョウ観察ツアー、展示スポット解説、付属園まつり、サクラソウ栽培展示



1階展示室

全館をリニューアルいたしました

宮野 典夫

3月29日にリニューアルオープンした山岳博物館は新しい姿で皆様をお迎えしております。駐車場からの階段には手すりを設け、玄関も自動ドアとなり明るい雰囲気となりました。エントランス・ホールの「さんぱくこどもひろば」には動物はく製に触れたり、リュックを背負ったり、おおまぴょんと一緒に記念撮影もできます。また、ミュージアムカフェ・ショップも装いを新たに営業しています。入館された皆様はエレベーターで3階へお進みください。3階は大町市と北アルプスの概要の紹介です。北アルプスがゆったり眺められるソファ、床には周辺の地図、無料になった望遠鏡などがあります。2階では大きなアンモナイトが出迎えます。魚の化石やさまざまな岩石に触れてみて感触を味わっ

てください。2階展示室ではニホンカモシカとライチョウに出会えます。いまに生きる生物を山地帯から高山帯へと紹介し、展示室の中央ではニホンカモシカの特徴や北アルプスにすんでいるライチョウの生活の様子を紹介しています。1階では山の魅力をデザインした7本のバナーが出迎えます。北アルプスと人との関わりについて峠の歴史や山での暮らし、測量や博物学などの視点から見た山を実物資料と写真で紹介しています。トイレは1階が女子専用、2階が男子専用となり広く使いやすくなりました。多目的トイレと授乳室も設けましたので、幅広い立場の皆様にご利用いただけます。新しくなった山岳博物館へ是非お越しください。

(市立大町山岳博物館館長)

## 「日本のライチョウは生き残れるか? — 地球温暖化による危機 —」

地球温暖化により日本のライチョウが絶滅してしまうかもしれない。こんな予測が発表されました。

長野県、そして大町市の象徴でもあるライチョウに、なにがおきようとしているのでしょうか。

研究した長野県環境保全研究所の堀田昌伸さんに、ライチョウがすむ高い山の環境のこともふまえてお話を聞いてみました。



質問1 ライチョウってどんな鳥ですか？

はい、先生！



堀田です。

ライチョウは、北半球北部の寒い地域に広く分布し、世界で一番南にすんでいるのが日本のライチョウです。ライチョウは日本が大陸と陸続きだった大昔の氷河期に北の方からやってきて、1～2万年前に地球が暖かくなり、気温の低い高い山に取り残されました。

現在は長野県や富山県など6県の主に2,400m以上の高い山にすんでいます。1980年代には約3,000羽がいましたが、今はそれよりもかなり減少していると考えられています。

原因ははっきりとわかっていませんが、一部の山では登山者や山小屋などが出す残飯などをもとめて天敵のキツネが高い山まで活動を広げたためと考えられています。



写真1

風が強い高山の草原で生活するライチョウのヒナと母親。  
ライチョウにとって必要なこのような草原は温暖化により大幅に減少することが予測されています。



写真2

なわばりに侵入したライバルを追い出すため、鳴きながらライバルに向かって飛んでいくライチョウの雄。



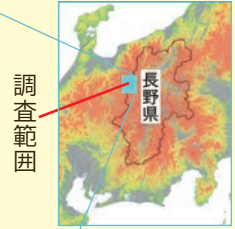
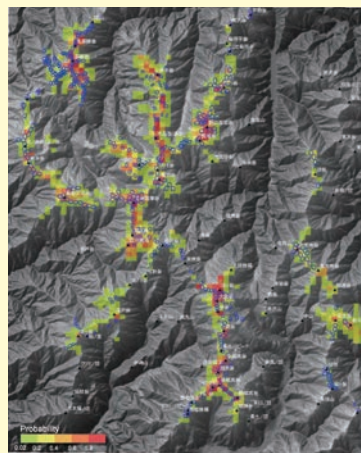
質問2 温暖化により日本のライチョウの生息はどうなりますか？

日本のライチョウは高い山に育つ植物との結びつきが強い



く、それらの植物に頼った生活をおくります。ハイマツの下に巣をつくり、敵から身を隠します。コケモモやガンコウランなどの芽や実を食べます。

2081～2100年には今より気温が1.5℃～4℃ほど高くなると予想されています。雪の量などの変化をあわせてコンピュータで計算すると、ライチョウに必要な高い山の植物が育つのに適した環境は1%以下になり、それにともないライチョウの数も大幅に減少すると予測されます。



調査範囲

高山植生から推定したライチョウの現在と将来の分布の比較。  
将来については不確実性を考慮。メッシュの色が赤いほど生息確率が高いことを示す。  
(現在のライチョウ生息域)



(2081～2100年のライチョウ生息域の予測)

図1 現在と温暖化後のライチョウ生息域の推定



質問3 わたしたちにできることはなんですか？

日本のライチョウをはじめ高い山にすむ生きものは、温暖化が進むと逃げる場所がありません。まずは、そのことをみなさんに知ってもらいたいです。そして、なかなか簡単ではありませんが、少しでも温暖化の原因である二酸化炭素を出さない社会をめざす意識をもちつけてもらいたいです。

写真3

雌が卵を抱いている間、ライバルがなわばりに侵入しないか見ている雄。かれのまわりには、餌となるコケモモやウラシマツツジ、巣をつくったり敵から身を隠すのに必要なハイマツがみられます。  
温暖化により、このような植物は大幅に減少することが予測されています。

この研究は、独立行政法人森林総合研究所との共同によるものです。

# 博物館のひろば

大町市内在住の65歳以上の方は、年間を通じて博物館の観覧料が無料となります。  
大町市内の小学校および中学校に通う児童・生徒の方は、年間を通じて博物館の観覧料が無料となります。  
(※ 入場の際に受付にて、住所・氏名等をご記入ください。)

## さんぱく座談会 もうすぐリニューアルオープン ー地域の博物館 山博(さんぱく)について語り合いませんか?ー

平成26年3月9日(日)開催



山岳博物館では、博物館と友の会からの話題提供の後、参加者全員で座談会を行う催しを友の会と共催で開催しました。

今回、博物館のリニューアルオープンに先がけ、新しい展示のみどころを市民・地域の皆さんにご説明するとともに、博物館を支える「友の会」の活動発表を前半に行いました。これら2つの話題提供をふまえて、後半は参加者全員による座談会を行いました。

座談会では「博物館、友の会の未来像」をテーマに、ワールド・カフェ方式によって、前半の話題提供をふまえた内容で自

由に意見交換を行いました。3～4人グループを1テーブルとして8テーブルを設け、テーブルを移動しながら15分ごとの話し合いを計3回行いました。限られた時間でしたが、別のテーブルで出された意見を持ち寄り共有し、さらに意見交換を重ねて深めることで、さまざまな意見・提案が出されました。

当日は、市民や地域の皆さん、友の会会員の皆さん、あわせて31人の参加があり、広報の重要性、入館者対策、子供への教育普及活動、学校との連携など、活発で貴重な意見交換がされました。

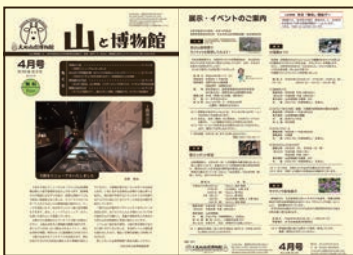
自然と人が共生する「山岳文化都市」おおまの未来へ向けて、その中核を担う地域の博物館「山博(さんぱく)」と、それを支える「友の会」の将来像を参加者同士で語り合うことができました。

今回いただいたご意見・提案は、今後の博物館運営の参考にさせていただきます。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

「座談会で出された  
博物館に対する意見・提案(一部)」

- ・フェイスブックやツイッターなどのソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)で活動報告やPRを行う。
- ・来なくなる魅力的な宣伝。いかにマスコミを使うか。使いやすく、見やすいホームページ。
- ・イベントや企画展を増やすことでリピーターを増やす。子供が遊べる企画も。友の会会員がサポートする。
- ・山好きな人が必ず立ち寄りたくなるような博物館。
- ・子供たちにふるさとのことを教える。
- ・子供のときに大町の自然や歴史を教えてほしい。川や山や夜空や大町の歴史。
- ・小学校の総合学習の場として機能できるカリキュラムを作る。
- ・小学校の教科などで利用を増やす。
- ・若い小学校の教員の方に博物館を知ってもらおう。

## 「山と博物館」が広報誌として 生まれ変わりました



「山と博物館」は、博物館創立5年後の1956(昭和31)年2月20日に「やまと博物館」として第1号が創刊されました。

当初の発行にあたっては、大町山岳博物館後援会が行い、旬の話題や保護動物の紹介、博物館の出来事などの記事が取りあげられていました。また学術色の濃い内容については「北アルプス博物誌」や「新・北アルプス博物誌」に再編され、発刊につながりました。

時代を経るにつれ、内容は学術的なものの紹介が主になりましたが、本号よりより多くの方に博物館への関心をお寄せいただけるよう、無料の広報誌として生まれ変わりました。

## 日動水協ライチョウ生息域外保全 PT会議を大町市で開催



2012(平成24)年、国はライチョウ保護増殖事業計画を策定しました。この計画の目標は日本産のライチョウが自然状態で安定的に存続できる状態にすることであり、事業のひとつに飼育下での繁殖等が掲げられています。

日本動物園水族館協会では、環境省からの協力依頼を受け、「ライチョウ生息域外保全プロジェクトチーム(PT)」を立ち上げ、2014(平成26)年2月24日(月)～26日(水)に、第1回PT会議を大町市で開催し、環境省と一緒にライチョウの保全に取り組むこととなりました。

山岳博物館もチームの一員として活動していきます。

## インターンシップの 受け入れをしました



山岳博物館では毎年、市内や近隣町村の中学生や高校生を中心に職業体験学習の受け入れを行っているほか、専門学生・大学生等の動物飼育研修の受け入れを行っています。

地域における社会教育施設として、学校教育におけるキャリア教育推進にご協力させていただいています。

この度は、2014(平成26)年2月27日(木)～3月9日(日)に大町市出身で、酪農学園大学(北海道)の学生(1年)の方に、飼育動物に与える餌の調理や給餌、飼育舎の清掃・付属園の整備など、動物飼育管理について体験していただきました。

# 展示・イベントのご案内

山岳博物館 市民「無料」開放デー

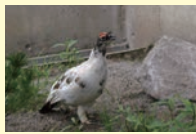
博物館では、毎月第3日曜日（家庭の日）と、その前日の土曜日を「大町市民無料開放デー」としています。  
4月は、19日（土）と20日（日）です。

大町市制施行60周年・合併10年記念  
長野県環境保全研究所・市立大町山岳博物館連携・協定締結記念

## 行事

市立大町山岳博物館・長野県環境保全研究所・大町山岳博物館友の会・長野県環境保全研究所友の会共催

## 茶臼山動物園で ライチョウを観察してみよう！



（長野市茶臼山動物園 提供）

日本の動物園では、外国のライチョウの繁殖を試み、それを日本のライチョウを守るために役立てようとしています。なぜ、そのような試みが必要なのでしょう。

みんなで見学してお話を聞いてみましょう。



堀田です。  
茶臼山でお会いしましょう。

開催日：平成26年5月11日（日）

開催時間：午前8時～午後4時

開催場所：長野市茶臼山動物園

（自由見学：2時間30分）

講師：堀田昌伸さん（長野県環境保全研究所研究員）

田村直也さん（長野市茶臼山動物園学芸員）

募集人員：40名（定員になり次第、締め切り）

対象：小・中学生から大人

参加者：大人1,500円 小・中学生500円

（入園料・保険料などを含む）

（※1）保険加入後のキャンセルには、キャンセル料（500円/1人）のお支払いが必要となります。

（※2）安全上、幼児（無料）のご参加は、バス内でシートベルトを着用し、一人で着座のことが条件となります。

（※3）FAX・E-mailでのお申し込みの受付はおこなっておりません。必ず、電話にてお申し込みください。

↑ 申込期限：5月2日（金）までにお申し込みください。

電話（0261-222-0211）

## 行事

## 展示スポット解説



山岳博物館は、3月29日（土）に常設展示の展示替えをしました。新しい展示について、各展示コーナーの具体的な展示資料の説明や、展示のみどころを学芸員や専門員が解説します。

解説する展示コーナーは「山と人」「山の地史」「山と生き物（植物）」のうち、各日でかわります。

開催日（平成26年）	内容
4月26日（土）	「山と人」 清水 隆寿
27日（日）	「山と地史」 小坂 共栄
29日（火・祝）	「山と人」 関 悟志
5月3日（土）	「山と人」 関 悟志
4日（日）	「山と生き物（植物）」 千葉 悟志
5日（月・祝）	「山と人」 清水 隆寿

開催時間：午前の部 午前11時30分～

（各20分）午後の部 午後 3時30分～

開催場所：山岳博物館

対象：どなたでも（年齢制限なし）定員なし

参加費：無料（ただし、入館料が必要です）

申し込み：不要です。当日、時間までにお越しください。

（※1）通常の入館料（大人400円 高校生300円 小・中学生200円）でご参加いただくことができます。

## 展示

## 付属園まつり



学芸員・飼育員がみなさんといっしょに付属園内をまわってお話しをする動物ガイドやどうぶつ写真大会、スタンプラリーを開催します。さらに、大町市のゆるキャラ「おおまびよん」もやってきますよ。

いずれも参加費・申し込み不要です。

付属園でゴールデンウィークを満喫しましょう。

開催日：平成26年4月26日（土）・27日（日）・29日

（①～③）（火・祝）、5月3日（土）・4日（日）・5日（月・祝）

### ①【動物ガイド】

開催時間：午前の部 午前10時30分～

（各20分）午後の部 午後 2時30分～

集合場所：山岳博物館 付属園 入口

対象：どなたでも（年齢制限なし）定員なし

### ②【どうぶつ写真大会】（画題：付属園の飼育動物や園内の風景）

開催時間：午前9時～午後4時30分

集合場所：山岳博物館 付属園

対象：幼児から小学生 定員なし

持ち物：写生用具

### ③【スタンプラリー】

開催時間：午前9時～午後4時30分

開催場所：山岳博物館 付属園

対象：どなたでも（年齢制限なし）定員なし

### ④【おおまびよんとあそぼう】

開催日時：4月29日（日）、5月5日（月・祝）

（各50分）午前の部 午前11時～

午後の部 午後 3時～

集合場所：山岳博物館 付属園 入口

対象：どなたでも（年齢制限なし）定員なし

（※1）①～③は、天候により中止とする場合がございます。

（※2）④は、天候により館内での実施となる場合がございます。

## 展示

## サクラソウ栽培展示



博物館では、草本植物の生活史研究に用いたサクラソウを毎年、信濃大町駅周辺で大町山岳博物館友の会サークル「ボランティアの会」といっしょに、栽培展示を行っています。

今年も約800鉢のサクラソウが山岳文化都市 おおまの春に彩りを添えます。

お出かけください。

開催日：平成26年4月30日（水）～5月25日（日）

開催場所：JR 大糸線信濃大町駅周辺

（※1）博物館の展示物に位置付けて栽培・管理しています。譲渡・販売などは行っていません。